

YAHOO! ニュース 豊岡市のジェンダーギャップ解消の取組みが「yahooニュース」で紹介！ 国内ランキング8位に！

人口8万人の市長が「ジェンダーギャップ」に目覚めた理由～兵庫県豊岡市の持続可能なまちづくり（前編）

治部れんげ | ジャーナリスト、昭和女子大学研究員、東大情報学環首席研究員
7/18(土) 20:00



兵庫県豊岡市は、多くの地方都市で深刻な若年女性の流出にいち早く気づいた。（写真：アフロ）

それは昨年3月末のことだった。

東京・紀尾井町にあるホテル・ニューオータニの大宴会場、1000名以上入れる部屋で日本政府主催の国際女性会議が開かれた。地方創生と女性のエンパワメントをテーマにした分科会で、ある人物の前に長い列ができていた。



コウノトリを水田に取り戻した体験とジェンダー問題の共通点～兵庫県豊岡市の持続可能なまちづくり（後編）

治部れんげ | ジャーナリスト、昭和女子大学研究員、東大情報学環首席研究員
7/19(日) 17:00



兵庫県豊岡市ではコウノトリと共存できる条件を行っている。豊岡市提供

男性は外で働き、女性は家庭を守る、いわゆる性別役割分担意識は、今も日本社会に残っており、特に地方で根強い。

「仕事に復帰したことを、姉に内緒にしている」、「PTA会長になったら、『女性なのに大丈夫か?』と学校長から電話を受けた」、「保育園のお迎えに来るのは母親ばかりだ」といった声を、筆者は各地で聞いてきた。こうした「意識」を変えることはできるのだろうか。

男/女らしさの意識は変わるか

兵庫県豊岡市は「多様でリベラルなまち」を目指し「ジェンダーギャップの解消」に取り組んでいる。特に力を入れているのは「ワークイノベーション」と称する働き方の行動と意識の変革だ。

市役所を含む市内事業所が一丸となって取り組んでいる。前回の記事では、市長がこの問題を優先課題とするきっかけになった人口問題について書いた。特に「若者回復率」や、これまでの慣習への市長自身の率直な反省の高潔を紹介した。

豊岡市の中泉京治市長は「時間はかかるが、ジェンダーギャップ解消は、きっとできる」と考えている。理由を尋ねると、意外なものを見せられた。コウノトリだ。

2020年7月18日（土）公開【前編】記事
<https://news.yahoo.co.jp/byline/jibureng/20200718-00188619/>

2020年7月19日（日）公開【後編】記事
<https://news.yahoo.co.jp/byline/jibureng/20200719-00188631/>

豊岡市のジェンダーギャップ解消の取組みが紹介される



- ・ 国会議員からも注目される兵庫県豊岡市
- ・ 市長の危機感に火をつけた「若者回復率」
- ・ ワークイノベーションの推進

小学館新書 治部れんげ著（2020年10月1日発売）
「男女格差後進国」の衝撃
無意識のジェンダー・バイアスを克服する



輝く女性の活躍を加速する男性リーダーの会（全国の企業経営者、自治体首長など246名）

「輝く女性の活躍を加速する男性リーダーの会」行動宣言 メールマガジン(Vol.30)（抜粋）

令和2年7月18日（土）・19日（日）のYahoo! JAPANニュースに、豊岡市長 中貝 宗治氏へのインタビュー「兵庫県豊岡市の持続可能なまちづくり」が掲載されました。豊岡市のジェンダーギャップ解消の取組みについて、ジャーナリストの治部れんげ氏による中貝市長へのインタビュー記事がYahoo! JAPANニュースに掲載されました。その中で中貝市長は大きな危機意識を持ってその想いについて語りました。豊岡市は、他の自治体と同様、働く女性や女性管理職を増やそうとしていますが、他の自治体と大きく異なるのは、こうした取組みを「女性活躍」ではなく、「ジェンダーギャップの解消」と呼んでいることです。豊岡市は、中貝市長の強いリーダーシップのもと、女性も働きやすく、働きがいを感じる職場を増やすことを通じた事業所のジェンダーギャップ解消と、これを切り口にしたまち全体のジェンダーギャップ解消の取組を行っており、記事の中でもその取組が紹介されています。

掲載記事はこちらをご覧ください。

<https://news.yahoo.co.jp/byline/jiburenge/20200718-00188619/>

<https://news.yahoo.co.jp/byline/jiburenge/20200719-00188631/>

第1回豊岡市ジェンダーギャップ解消戦略会議（9月23日）の開催



2020.9.29朝日新聞



2020.9.29神戸新聞

はたらく

女性活躍 演劇が後押し

兵庫県豊岡市

女性活躍の土壌づくりに「演劇」の手法

管理職らが自らの無意識の偏見に気付く

女性のUターン促進を地域ぐるみで

KANSAI Timeline

多様性・偏見寸劇で学ぶ

参加者は人づかみ分け、ステレオタイプ、性別役割分担意識、無意識の偏見などを演じることで、自分と異なる人物を演じることで、他人の立場や考え方への理解を深める。(6日、兵庫県豊岡市)

「自分と違う立場の人の役を演じることで新たな視点を得られた」「多様な考え方を知り、自分の中の無意識の偏見に気付くのが重要」

女性活躍、演劇が後押し 兵庫県豊岡市：日本経済新聞
<https://www.nikkei.com/article/DGXMZO65389010T21C20A0AA1P00/>

豊岡市「演劇ワークショップ」の取組が紹介される (2020.10.26日本経済新聞夕刊)

参加者などの声

「自分と違う立場の人の役を演じることで新たな視点を得られた」

「多様な考え方を知り、自分の中の無意識の偏見に気付くのが重要」

女性活躍、演劇が後押し 兵庫県豊岡市：日本経済新聞
<https://www.nikkei.com/article/DGXMZO65389010T21C20A0AA1P00/>

3

ジェンダーギャップ解消戦略策定支援業務の受託者 (株)クリーン代表取締役 園田綾子さんが「NHKクローズアップ現代」にスタジオ出演 (2020年10月13日)



2020年10月13日(火)

社会を動かす! 女性たちの「ライフスタイルチェンジ」

#働き方 #環境 #働き方改革 #地域

シェアする [7]

コロナ禍で従来の社会の仕組みや自らの生き方の問い直しが迫られる中、「ライフスタイル」を変え社会を変革しようという新潮流が生まれている。キーワードは「持続可能性=サステナビリティ」だ。40代の女性が責任者となり「丸井グループ」が進めているのは、大量生産・大量消費と決別した店作り。また地方にはインバウンドに頼らず地産地消で経済を回そうと動く女性も。本当の豊かさとは何か、女性たちの新たな挑戦を見つめる。

写真撮影: 仁科勝介

※関連記事

のんさん流SDGs「身近なところから始めよう」

<https://www.nhk.or.jp/gendai/comment/0008/topic050.html>

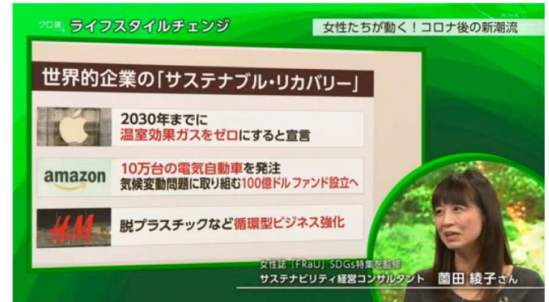
「サステナブル」やってみました 新型コロナをきっかけに暮らしを考え直す

<https://www.nhk.or.jp/gendai/comment/0008/topic049.html>



次の放送 週よつ午後10時00分

世界でどう闘う? 農産物のJAPANブランド ~求められる新戦略~



武田: 環境や社会やガバナンスを重視して投資していくこと。コロナ後に改めて注目されているということなんですね。

コロナ禍でも暮らし方を変えていかなきゃと思っているんですけど、その変化を社会全体の変化につなげていく。最後は個人個人だという話もありましたけれども、私たち一人一人にできることって何でしょうか?

園田さん: スウェーデン発の「バックキャストिंग」という考え方があるんですけども、未来から考えて、今までの過去のやり方を一度リセットして未来から何をやっていくのか、ありたい姿をまず考えて行動していくという発想です。実際にSDGsでも、このバックキャストिंगというのは応用されていますし、パリ協定、2050年にCO2をゼロにして幸せな社会を作っていくというのにも応用されているんですけども、まず私たちが幸せなありたい姿を、理想的な姿を描き、それをするために何が出来るのか。それも自分だけじゃなくて、未来の子どもたちのために何が出来るのかということを考えて行動することが大切だと思います。

エコハウスでのワーケーション・トライアルによる発信



羽島慎一モーニングショー 2020.10.7
ジャーナリスト浜田敬子さん



67 Asahi Shimbun Weekly AERA 2020.10.26

AERA 2020.10.26 No.49
タレント、エッセイスト小島慶子さん

小島慶子の聴くYou tube ワークーションしてみた①「コウノトリ」
<https://www.youtube.com/watch?v=ejFOj2zSAgE>

小島慶子の聴くYou tube ワークーションしてみた②「城崎温泉」
<https://www.youtube.com/watch?v=SqMglOSdqzs>

小島慶子の聴くYou tube ワークーションしてみた③「演劇」
<https://www.youtube.com/watch?v=yCIRR1lcf10>

小島慶子の聴くYou tube ワークーションしてみた④「若い女性が戻りたくなる故郷」
https://www.youtube.com/watch?v=Xg4R_8ai04



■今後の雑誌やWEBニュース等への掲載予定

- ・小島慶子さん 日経A R I A (2020年11月)
- ・白河桃子さん サンデー毎日 (2020年10月または11月)
- ・働く女性・ママのメディア「CHANTO WEB」 (2020年10月)

【取材】

- ・ジェンダーギャップ解消戦略会議 (市長インタビュー含む)
(2020年9月23日 朝日新聞大阪本社)